

# 佐藤淳一

## サクソフォン リサイタル

### with ライブ エレクトロニクス



## 「The New York Counterpoint」

サクソフォン 佐藤淳一  
エレクトロニクス 阿部俊祐

program

- ▲ JacobTV / The Garden of Love
- ▲ JacobTV / Ticking Time
- ▲ S.Raich / New York Counterpoint
- ▲ J.Coltrane : 斎藤和志  
/ GiantSteps for LoopSampler  
and Saxophones
- ▲ P. Jodlowski / Mixion
- ▲ 酒井健治 / Reflecting Space II

主催：札幌コンサートホール（札幌市芸術文化財団）

※このコンサートはKitaraがサポートしています。

後援：日本サクソフォン協会 / 問い合わせ：090-8033-7286（佐藤）

平成29年  
3月8日(水)  
18:30 開場  
19:00 開演

料金  
一般1500円  
学生1000円  
全席自由  
札幌コンサートホール  
Kjitara小ホール

Kjitara Club  
会員料金  
一般1000円

チケット  
取り扱い  
Kitara  
チケットセンター  
011-520-1234

ライブ・  
エレクトロ  
ニクスとは？

ライブ・エレクトロニクスとは、演奏時にリアルタイムに、電子のあるいは電氣的に、音響を発生させて変調させる音楽のことです。テープに固定する「電子音楽」ではなく「生演奏されることを念頭に置いた電子音楽」として定義されています。今回は広義の意味でコンピュータやピーカーを用いた音楽も含めて、ライブ・エレクトロニクスとして運曲しています。難解に思われるかもしれませんが、曲の仕組みや演奏方法などをコンサートで説明しながら演奏していく予定です。



## 佐藤 淳一

1981年千葉県生まれ。洗足学園音楽大学を経て、同大学院管打楽器専攻首席修了。東京藝術大学大学院音楽研究科博士後期課程修了。「ルチアーノ・ベリオの肖像」と題した一連のリサイタル・シリーズと博士論文によりサクソフォン領域において日本初の博士号(Ph.D.)取得。在学中から演奏活動を開始し、オーケストラ・吹奏楽への客演、室内楽、ミュージカル、レコーディング、即興演奏などジャンルを問わず幅広く活躍する。東京藝術大学の推薦により、「奏楽堂デビューコンサート・シリーズ」でリサイタル・デビューして以降、トークショー・エクスペリエンタル・フェスティバルにおけるリサイタル「ルチアーノ・ベリオの周辺」に対する受賞や、東京オペラシティ文化財団主催「B→Cリサイタル」に出演するなどソリストとしても活躍する。自身のライフワークの一つである現代音楽には特に積極的に取り組み、L.ベリオのコンチェルト「レシ(シュマンVII)」やP.ブルーゼス「二重の影の対話(サクソフォン版)、藤倉大「Reach Out」などを日本初演した演奏は特に高い評価を受けている。現在は鹿賀氏における原子力発電所の事故を受けて脱原発やエコを目指し、ライブ・エレクトロニクス作品に電力会社の電気ではなく、太陽光発電での電力を用いる「ライブ・エコロニクス」という演奏活動も行っている。

また演奏活動の傍ら執筆にも力を入れ、大学院在学中から「パイプズ」において現代音楽に関する連載を始め、執筆活動を開始。以降「THE SAX」や「バンドジャーナル」など、これまでに5つの連載をし、現在は「THE SAX」において「サクソフォニストのためのハロー・ワーク」を「バンドジャーナル」において「演奏に役立つツワンポイントレッスン」を連載中。それ以外にも楽器ガイド、演奏会評、論文の寄稿、インタビュー、製品レビュー、曲目解説など執筆総数は100をゆうに越える。

海外における活動も多く、これまでにパリ・サクソ・フェスティバルやGAP 夏期大学に参加し、パリ音楽院教授C.ドゥラングル、V.ダヴィットらのもと研鑽を積む。またスイス・バーゼルのパウル・ザッハー財団に滞在し、L.ベリオの手稿譜の研究に携わった。2012年にはニューヨーク・マンハッタン音楽院において講義と演奏を行い、同年には台湾・台北芸術大学においてもマスタークラスと講義を行ったほか、台湾各地にてコンサートを行った。2015年7月にはフランス・ストラスブルで開催された「ワールド・サクソフォン・コンGRESS」に出演。Jacob TVへの委嘱作品「Ticking Time」を世界初演し、絶賛を得るなどその活躍は国内外に及ぶ。これまでにサクソフォニストを宗貴啓二、大和田雅洋、富岡和男、平野公崇の各氏に師事。北海道教育大学旭川校専任講師、岩見沢校兼担講師、博士(音楽) <http://saxolab.net>



## 阿部 俊祐

秋田県出身。幼少から好きだったJazz、フュージョン、ゲーム・アニメ音楽を出発点に、大学では主にフランス現代音楽を研究し、西洋伝統音楽の視点から音に対する感性を磨く。それを下地に映像音楽から商業音楽、現代音楽に至るまで作品を発表・提供している。

TOMAS music labo. 副代表。TOMAS music labo. は、大学院同期の友人と立ち上げた音楽制作サークル。2011年夏のコミケ80等にてオリジナルCD第1弾を頒布したのを皮切りに、コミケやM3、フランスで行われたジャンエキスポ等で活動中。

現代音楽での受賞・新作委嘱も多く、明快な和音、多彩で通き通った音色、繊細な音作りによって編み上げられる作品は、新聞や雑誌などでも取り上げられ好評を得ている。

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。在学中に安宅賞受賞。同大学院修士課程作曲専攻修了。フランス、パリ国立高等音楽院作曲科中退。2010年度野村学芸財団奨学生。2011-12年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。作曲を西反田素幸、浦田健次郎、小山薫、野平一郎、ジェラルド・ペソンの各氏に師事。

秋田大学教育文化学部非常勤講師を経て、現在北海道教育大学岩見沢校音楽文化専攻作曲コース特任講師。

現代音楽での主な受賞・活動歴は以下。

2010年、京都フランス音楽アカデミーにてアラン・ゴサン氏のクラスを受講し、最優秀作品に贈られるメシアン賞受賞。同年、第8回 TIAA 全日本作曲家コンクール室内楽部門2位(1位なし)・歌曲部門審査員特別賞の各賞受賞。同年、第17回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門中田眞貴の部優秀賞受賞。2011年1月には、アンサンブル室町の委嘱により作曲された和楽器と古楽器のための作品《Ombre/Son(音の影)》が東京文化会館小ホールにて初演された。12月には藝大大学院修士修了作品として書いたオーケストラ作品《L(イル)》が藝大フィルにより藝大奏楽堂にて初演され、同作品は2012年8月に行われた芥川作曲賞(サントリー・芸術財団主催)にノミネートされ、大井剛志指揮、新日本フィルハーモニー交響楽団により再演された。

## 札幌コンサートホール *Kijara*

〒064-8649  
札幌市中央区中島公園1番15号  
Tel : 011-520-2000 (代表)  
Fax : 011-520-1575  
H P : <http://www.kitara-sapporo.or.jp>

### 地下鉄

- ① 地下鉄南北線「中島公園駅」  
3番出口から徒歩約7分
- ② 地下鉄南北線「幌平橋駅」  
1番出口から徒歩約7分

### 市電

- ③ 市電「中島公園通」下車 徒歩約4分
- バス
- ④ 中央バス、JRバス「中島公園入口」
- ⑤ JRバス「中島公園駅前」
- ⑥ 中央バス「幌平橋」
- ⑦ JRバス「幌平橋駅前」

